



夏の厳しい暑さも終わり、秋の訪れを感じられるようになりました。お散歩やからだを思い切り動かすことが気持ち良い季節です。走ったり、跳ねたり、たくさん外遊びをして、丈夫なからだをつくっていきましょう。体調に気を付けながら、楽しい経験を通して健康な体をはぐくめるといいです！

【9月の健康状況 8/30~9/30】

新型コロナ感染症 7名・溶連菌感染症 5名・手足口病 1名・プール熱 3名
インフルエンザ A 1名・その他に、咳、朝夕熱が高くなり、日中下がる風邪や腹痛や嘔吐、下痢の症状のお子さんも見られました。



秋の保健行事のお知らせ

11月20日) 後期内科健診
11月28日(火) 後期歯科健診

10月 3歳児クラス視聴覚検査 (りんご組に、視聴覚健診用紙を配布しました。ご家庭での検査をお願いいたします。視覚検査は後日保育園でも実施します)

秋は **薄着の習慣** をスタートさせる絶好の季節です



○おとなより薄着が快適です 「大人より1枚少なめ」を目安に。体調や発汗、顔色を見て判断しましょう

・子どもは新陳代謝が激しく、運動量も多いため、熱を放散させる必要があります

○子ども時代に暑さ寒さを体感するのは大事なことです

・暑さ寒さの経験によって、自律神経系が順調に機能していくようになり、適応力も育っていきます

※薄着の習慣は、寒さに対する抵抗力や、徐々に風邪をひきにくい丈夫な体を作るとともに、子どもの遊びや動きを活発にし、そして安全にします。しかし、薄着は寒いのをガマンさせるというではありません

インフルエンザ予防接種が始まります



10月から、各医療機関でインフルエンザの予防接種が始まっています。インフルエンザは例年12~4月ごろに流行しますが、今年はすでに流行期にはいり、金沢区も多くいるようです。

費用もかかるので、ご家庭の判断になりますが、ご希望のご家庭は早目に予約をとりましょう。

生後6か月から

インフルエンザワクチンは、インフルエンザを完全に予防することはできませんが、肺炎や脳症などの重症化を予防します。ワクチンは生後6か月から接種できます。発病すると重症化しやすい子ども、妊婦、お年寄り、特に接種を受けることがすすめられています。

2回接種

日本では、生後6か月~12歳までの子どもは、2回接種が原則です。子どもは、2回接種のほうが抗体の量が増えるからです。インフルエンザワクチンでは、1回目と2回目の接種間隔は、4週間程度あけるのが望ましいとされています。流行の前に2回目の接種が終えられるようにしましょう。



家族みんなで!

重症化しやすい乳幼児をインフルエンザから守るためには、家族みんなのワクチン接種に加え、大人たちも手洗いやせきエチケットを徹底すること、流行の時期は、人が多く集まる場所に行かないようにすることなどが大切です。

*新型コロナウイルス感染症、インフルエンザは、登園の際、医師の記入した意見書が必要になります。

・静養したあと、保育園に登園できる体調になったら、もしくは目途がたったら、再受診をする。再受診の際は『意見書』の用紙を持参しましょう。

*保育園は集団生活です。感染拡大を防ぐためにも、いつもと様子が違う、体調がすぐれない時など、いつもと違う姿が見られた場合、発熱の有無にかかわらず、連絡させていただく場合があります。連絡がとれる体制をお願いします。